

総合設備会社がお届けする“環境・省エネ市場のトレンド”
TAISEI ONCHO “GREEN WIND”

TAISEI ONCHO
大成温調株式会社
 グリーン・ウインド

No.9
 2014年4月号

発行元
 大成温調株式会社
 環境・省エネグループ
 (03-5742-7325)

ぺんぎんメガソーラー発電所の運用開始！

埼玉県本庄市で発電出力1メガワットの太陽光発電システムの運用を開始しました。

■太陽光発電システムを設置するメリット

- ①環境貢献
再生可能エネルギーを活用することで二酸化炭素排出量を抑制します。
- ②地域貢献
再生可能エネルギー発電所の設置は地域のエネルギー貢献に繋がります。今回設置した本庄市は、エネルギー特区の構想があり、当社もその一端を担うことができました。
- ③防災対策
非常時の電源基地として災害時に役立てられます。
- ④環境教育
地域住民、学生の方々に環境教育教材として提供することができます。
- ⑤経済効果
遊休地、屋根などを活用することで、節電と経費削減に繋がります。
- ⑥企業イメージ
環境ビジネスを行うことは企業のイメージアップに繋がります。

■施設の概要

- ①N型単結晶の高効率モジュールを採用
- ②予測発電量は年間140万キロワット（一般家庭400世帯分に相当）
- ③二酸化炭素排出量を年間770t削減（予測値）
- ④基礎製作の省力化と軽量化アルミ架台の採用で工期を短縮
- ⑤LED表示パネルで発電量の見える化

■お客様へ

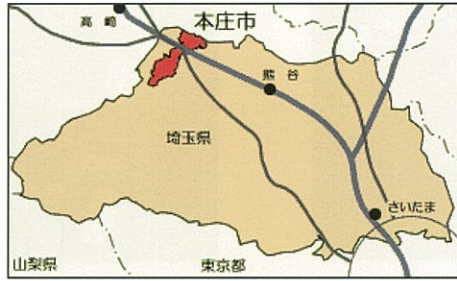
ぺんぎんメガソーラー発電所についてのお問い合わせをお待ちしています。当社担当者が施設のご案内とご説明をさせていただきます。お客様の太陽光発電へのイメージをより具体的にするために当施設をご活用ください。



太陽光モジュール



発電量の見える化



設置場所

地図出典：本庄市

※ぺんぎんメガソーラー発電所の名前の由来は、創業当時の当社製品愛称名「ぺんぎん」より命名

太陽光発電による買取り価格が

32円／キロワット（税抜き）に！

平成26年度再生可能エネルギーの固定買取り価格が決められました。

■買取り価格・期間
再生可能エネルギーの固定買取り価格が下表の様に決まりました。非住宅用の太陽光発電による買取り価格は、現在の36円／キロワット（税抜）から32円／キロワット（税抜）になりました。

再生可能エネルギー買取り価格

電源	買取り区分	買取り価格 (円／キロワット)	買取り期間 (年)
太陽光	10キロワット未満 (住宅用)	37	10
	10キロワット以上 (非住宅用)	32	20
風力	陸上20キロワット未満	55	20
	陸上20キロワット以上	22	
	洋上	36	
中小水力	200キロワット未満	34 (25) ※	20
	200キロワット以上1000キロワット未満	29 (21) ※	
	1000キロワット以上30000キロワット未満	24 (14) ※	
地熱	15000キロワット未満	40	15
	15000キロワット以上	26	
バイオマス	メタン発酵ガス化	39	20
	未利用木材	32	
	一般木材	24	
	廃棄物系 (木質以外)	17	
	リサイクル木材	13	

※ 中小水力のカッコ内は、既存導水路活用の価格です。

■当社の太陽光発電事業への取り組み
ぺんぎんメガソーラー発電所の経験と技術を生かして、メガソーラーを含めた高圧発電所の案件を積極的に取り組んでまいります。

また、発電事業計画の一環として、今年度も昨年度に引き続き自社発電所の設置計画を進めてまいります。

今後は、国内で培った技術を活かし、海外でも太陽光発電事業の設計施工を行ってまいります。

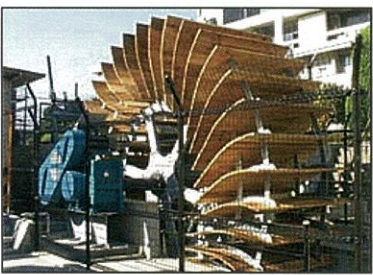
■その他の再生可能エネルギーへの取り組み
当社は再生可能エネルギーの活用を積極的にサポートしていきます。



太陽光



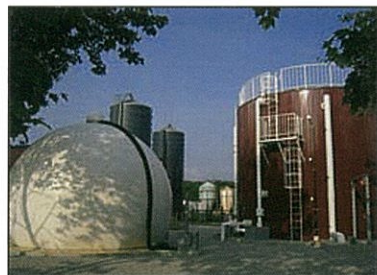
風力



中小水力



地熱



バイオマス

写真出典：経済産業省
 資源エネルギー庁

ハイブリッドシステムによる省エネ施工事例！

当社東北支店が施工した児童養護施設「一関藤の園」は給湯・暖房用に太陽熱利用システム、チップボイラー、潜熱回収ボイラー、マイクロコージェネなどの複数の機器を組み合わせたハイブリッドシステムです。

岩手県一関市にある児童養護施設「一関藤の園」は東日本大震災により建物が損傷したため全面改築となりました。

■設計・施工コンセプト

① ライフラインが止まったとしても稼働可能な設備とする。

② 安全かつ容易に運転可能な機器とする。

③ 可能な限り再生可能エネルギーを活用する。

④ ランニングコストの低減を図る。

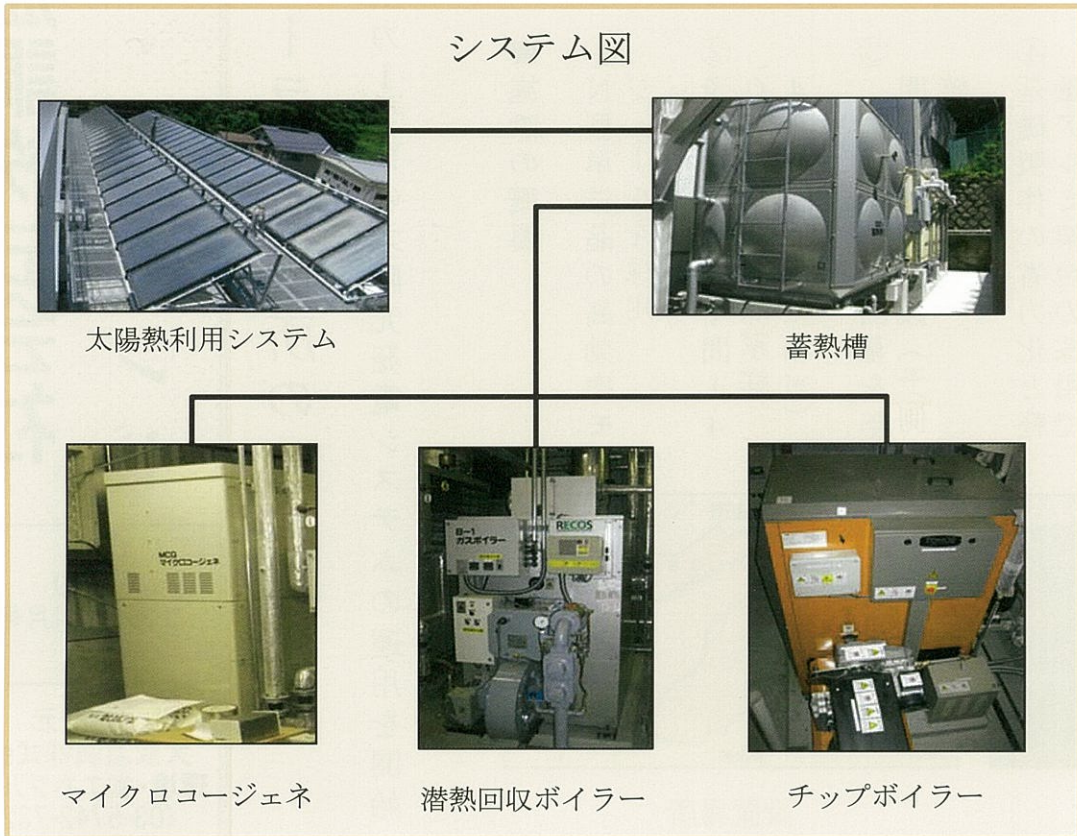
⑤ 避難場所として地域に貢献できる施設にする。

■運転概要

太陽熱利用システムをメインで稼働させます。集熱できない場合などはチップボイラーで蓄熱槽の温度を一定に保ちます。更に供給が追いつかない場合は潜熱回収ボイラー及びマイクロコージェネを稼働させます。

■導入のポイント

再生可能エネルギーを用いた設備を導入する場合は、複数の設備を組み合わせたハイブリッドシステムが推奨されています。それぞれの長所を活かすことでより安定的な効率の良いシステムとなります。



一関藤の園

平成26年度省エネ関連補助事業のご案内

今年度を実施予定の省エネ関連補助事業の内、代表的な3事業をご紹介します。補助金を有効に活用し、設備を更新されてはいかがでしょうか。

■補助事業の概要

環境省
「温室効果ガス排出削減による中小事業者等経営強化促進事業」
【要件】 ・事業所の年間CO ₂ 排出量を5%以上削減
【補助率】 ・2/3
【予算金額】 ・12.8億円

経済産業省
「エネルギー使用合理化事業者支援事業」
【要件】 ・省エネ率1%以上 または省エネ量原油換算500KL以上
【補助率】 ・1/3
【予算金額】 ・410億円

国土交通省
「住宅・建築物省エネ改修等推進事業」
【要件】 ・省エネ率15%以上かつ 躯体の省エネが必須
【補助率】 ・1/3
【予算金額】 ・171億円(25年度実績)

※国土交通省、経済産業省の要件・補助率は未定です。(平成25年度の情報を掲載)

■補助金活用のメリット

- ① 投資費用が大きく抑えられます。
- ② 少ない投資で毎月の光熱費が削減できます。
- ③ 計測(見える化)が必須であり、その後の運用改善が容易になります。

④ 少ない投資で建物の資産価値を向上できます。

■申請書作成支援

申請書の作成は原則的にはお客様が行うことになっていますが、作成には非常に手間が掛かります。そのため、当社では申請書類の作成支援を行っています。補助金を活用し、設備の更新をお考えのお客様は、お気軽にご相談ください。

■問い合わせ先

大成温調株式会社
 環境・省エネグループ

TEL
 03-5742-7325

編集後記

▼2月には首都圏でも2週続けて大雪に見舞われ、公共交通機関の乱れなどの混乱が生じました。原因については地球温暖化を指摘する声もありませんが、改めてエネルギー問題について考えさせられました。雪の影響で停電になった地域もあり、電気が止まることの怖さ、不便さを感じずにはいられません。先の大震災や昨夏も相次いだ豪雨、そして今回のような雪害などに備え、太陽光や風力などの再生可能エネルギーを含めた別電源の確保を考えた時代になったのだと感じます。

▼今号は当社の発電事業「ペンギンメガソーラー発電所」と再生可能エネルギーの固定買取価格を中心にご紹介させて頂きました。省エネ・節電、再生可能エネルギーの活用など、お客様が興味を持たれたお客様はお気軽にご相談ください。

環境・省エネグループ
 統括 佐藤正夫